

山形の母なる川

最上川

vol.25

平成23年 5月20日



倫理経営企業の素顔

第2回 酒田市倫理法人会 株式会社グローバルマシーン

写真は菅原社長と守屋工場長

目次

鈴木隆一会長 挨拶……………2	山形県倫理法人会決起大会……………12	東日本大震災への援助活動……………16
國分浩実研修委員長 富士研総括……………4	池田知之青年委員長 魔法の質問……………13	方面会に参加して……………16
畑田一志朝礼委員長 朝礼アンケート……………6	単会トピックス……………14	編集後記……………16
倫理経営企業の素顔(第2回)……………8	お知らせ……………15	



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

日本創生の 仕事をしよう。



山形県倫理法人会

会長 鈴木 隆一

人々の働きに感動

東日本大震災によって私たちは大自然の力の前には人間がいかに無力な存在であるかを思い知らされました。しかし同時に、人間の持つ強さとやさしさに触れて感動し心を揺さぶられました。あれほどの悲惨さの中で被災者の方々が示された忍耐や公共の精神、礼儀止し、思いやりの心。また、被災地や原発の現場で活動する自衛隊、警察、消防、地方自治体の方々、諸外国の救援隊、ボランティアなど大勢のみなさんの使命感と自己犠牲の精神。そして全国に広がる大きな支援の輪。大震災のもたらしたものは悲しみや苦しみだけではない、むしろ大震災は日本人が心をひとつにして一緒に苦難に立ち向かい、良い社会を創造し、みんなが幸せになる機会を与えてくれたのだと思わずにはいられません。日本は歴史の大きな曲がり角を曲がったのです。この道は幸福につながる道と信じています。

謹んで大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。私たちは尊い犠牲を無駄にしません。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。みなさまが長期の避難生活において心身共に健康でありますように、そして一日も早くふるさとが復興し我が家に戻れますよう心からお祈り申し上げます。今こそ被災者の方々に思いを寄せ苦難

を分かち合う時です。そして希望と勇気を分かち合い、日本創生を目指してスタートしましょう。

復旧復興を超えた日本創生

日本創生とは日本を創造的に再生することです。ですから復旧ではありません。大震災後に聞こえてくるのはほとんどが「日本は経済の復興と創造的な地域づくりを進めよ」という意見です。しかし、このような目に見える日本の復興だけでは足りないのではないかと。私たち倫理法人会が目指すのは心の面、精神性の面で日本を創造的に生まれ変わらせる「日本創生」です。真面目で誠実なこと、明るく仲よく喜んで働くこと、そして思いやりに溢れた安全安心な相互信頼社会を築くこと。これが私たちの真の願いではなかったか、これが大震災で亡くなられた方々の思いではないかと私は繰り返し考えています。日本創生の鍵は日本人の創生にあります。大震災に一瞬立ちすくんだ倫理法人会。しかし、今再び日本創生に向かって前進しよう。

倫理法人会の存在意義

大震災後、倫理法人会は被災された市民や会友に向けて義援金の募集や救援物資の提供、ボランティア活動などを実施してきました。これ以外に行うべき活動はなんでしょうか。①純粋倫理を実践し、喜んで苦難を乗り越える創造的な生き方を伝えること、②被災地や衰退するふるさとを再建し、多くの人々を幸せにする創造的な倫理経営を広めること、③物より心の面から日本を創造的に生まれ変わらせ

る日本創生を実現すること。この三つを「私たちと
いっしょにやりましょう!」とまわりの人々に呼び
かける活動こそ重要ではないでしょうか。「純粹倫
理の普及による日本創生の実現」を進めることが私
たち倫理法人会の存在意義だと思います。そのた
め、この大切な活動を担う倫理法人会をいかに活
性化させるかを考え実行しなければなりません。

人を育てよう、思いを育てよう

倫理法人会を長期的に発展させるためには「人財
の育成」が鍵であると思います。人財とは日本創生
への思いが深い人であり、その実現に貢献できる人
です。会の会長がまず第一の人財であってほしいと
思います。会長の思い、願い、そして使命感が活動
を通じてまわりの会員へ伝わり、会員の成長と組織
の拡大へとつながり、その結果としてその倫理法人
会が長期的に発展していきます。震災後の今、会長
をはじめ会の中心となる役員は自分の思い・願いを
深めていただきたい。そして①自己革新、②創造的
な倫理経営、③倫理法人会活動の新たな挑戦、の三
つを継続して実践しましょう。

① 朝の喜びを創生の力に

自己革新には朝、良い習慣を創ることが一番効果
的です。毎朝正しい朝起きを続けること、実践の
決意を誓うこと、計画を作成すること、職場の教養
を読んで反省し決意すること、文章を書くことなど
は私のお勧めです。朝は未来を計画し創造的な仕事
をするチャンス。また、散歩で大自然のエネルギー

をもらって元気になること、家事の手伝いをするこ
とも朝の喜びです。朝は生きる喜びに満ち満ちてい
ます。この喜びを復旧復興の力へ、日本創生へ。

② 震災で自社の存在意義を知る

第二に倫理経営の実践です。震災後、各会員企業
にも様々な危機が訪れその対応に追われています。
しかし受動的な対応だけではもったいない。この苦
難は「もっとお客様を喜ばせ社会を幸せにする能力
を高めよ」と天が我社に与えてくださったチャンス
です。そう思っで見渡せば、震災後の日本は倫理経
営の実例の宝庫です。そしてこれまで培ってきた自
社の倫理経営の力を試す機会でもあります。今こそ
自社の商品やサービスの価値を問い直し、会社の存
在意義をより深く認識しましょう。

③ 常に挑戦する組織

倫理法人会は常に新たな挑戦を行い会の革新を
図りましょう。具体的には役員朝礼のリハーサルと本
番、モーニングセミナーのリハーサルと本番を基
本に忠実に行い、その場で評価反省することで完成
度・活力度を高めていきます。また、役員に新たな
任務・課題を与え、チャレンジしていただいで日本
創生への思いを深めていきます。会員スピーチやあ
いさつ練習、輪読など小さな行動のひとつひとつが
会員の成長に直結していることを意識しましょう。
すべての行事、すべての活動、その中の一挙手一投
足を人財育成に役立てようという強い目的意識を持
ちましょう。

思いを伝え、思いを受け止める

普及とは、第一に相手の人の幸せを願うことから始
まります。相手の人、その人のご家族、従業員の幸せと会
社の繁栄を心から願いましょう。第二に相手の人の思い
を感じ取り、思いを受け止めます。言葉にならない思い
を心のアンテナで受け止めましょう。そして第三に自分
の倫理実践を喜びと共に伝えます。自分の願い、日本創
生への思いを伝えましょう。このような貴重な体験をす
ることが出来る普及活動は倫理法人会の最高の人財育成
の場です。普及において重要なことは、より多くの方々
が普及活動に参加する仕組みを作ることだと思います。
多くの方々が参加すればするほど会社が活性化し、長期
的に発展します。会が発展すれば、日本創生の実現により
大きく貢献できるでしょう。

発展計画を創ろう

みなさんの倫理法人会に、今年だけでなく今後5年間の
発展計画はあるでしょうか? 発展計画とは人財を育てる数
値目標のことです。どのくらい人財を育てるか(目標)、
または育てたか(実績)を表す指標(尺度・ものさし)と
して、会員数とモーニングセミナー出席者数がふさわしい
と思います。それぞれの今後5年間の目標数値を縦軸横軸
に取りマトリックスグラフを作成しましょう。きっと日本
創生実現の「やりがい」と「喜び」が増すでしょう。

日本創生の仕事をしよう

がんばれ日本、がんばれ東北。そしてがんばろう倫
理法人会。すべては私たちの笑顔から始まります。

富士研総括



山形県倫理法人会 研修委員長 國分 浩実

今年の倫理経営者セミナーは、岩手、群馬、島根の各倫理法人会の皆様とご一緒させていただきました。岩手県倫理法人会の方々は個人的にも同じグループで受講しました。改めまして、東日本大震災でご苦労されている倫友の皆様衷心よりお見舞い申し上げます。

今年も日程が、前泊を含めての四日間、一月三十一日から二月三日となり、月をまたぎ、更に月曜から木曜という事になってしまい、日程的都合により予定の四十名より大幅に少ない二十四名の参加となってしまいました。参加ゼロの単会もあり、研修委員長として力不足であった事を反省するとともに、来年の課題といたします。

また、出発当日は大雪で、バスの運行も厳しいものとなり、結果的には予定にあまり遅れずに御殿場に到着しましたが、もう少し余裕を持って計画した方が良かったと感じています。

私自身、日程的な関係で、参加を迷っていましたが、研修委員長という立場もあり、迷いを断切り、行って来ました。

体験者の話を度々お聞きしておりましたので、正直なところ、「厳しい」「痛い」とのイメージが先行して、かなりの覚悟をもって臨んでおりました。

二月一日、前泊のホテルを出発し、富士高原研修所の建物にオーラを感じ、到着してすぐに体全体が引締る思いでした。未体験者にとっては楽しみ半分、不安半分です。



早速、開講式の後に「愛和のみそぎ」です。例年より気候も良かったのですが、やはり二月。ふんどし一つで滝場までの数百メートルは長く感じました。しかし不思議なもので、たくさん仲間と行動している内に、滝に入っている時は冷たさを感じる前に、と言うより**頭の中が完全に「無」**になっていました。

自分はこれまでの生活、仕事でも集中力のある方だと思いましたが、このような集中を通り越して「無」になったのは初めてでした。翌日の二度目のみそぎでは、少々、**心に余裕が出来、家族、社員の幸福、健康を祈る**ことが出来ました。

自分もそうであったように、何かと富士研については、「愛和のみそぎ」、「自照清坐」など、身体的厳しさ、痛さを連想してしまいますが、この他に精神的豊かさ、感謝の心を養う、友情、愛情の創造といった講座が早朝から始まります。二泊三日とはいえ、倫理に囲まれている生活は、必ず自分を成長させると思います。

皆さんは日頃、親、妻、子、社員の方々へ感謝の気持ちをお持ちでしょうか。人は決して一人では生きられない。**常に誰かの手助けを受け生きていける**のです。感謝する気持ち、それを身に付ける場が、富士研経営者セミナーです。まだ参加されていない経営者の方は、ぜひ一度でも体験して下さい。

来年度は日程をなるべく多くの方が参加し易いような工夫をする予定です。このような体験は倫理を学んでいなければ出来ないことです。来年、多くの方々と共に参加したいと思えます。よろしくお願いたします。



朝礼アンケートについて

山形県倫理法人会 朝礼委員長 畑田 一志

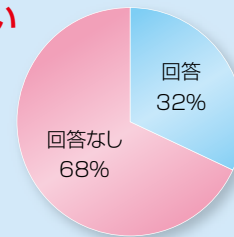
この度は朝礼アンケートを実施させていただきましたところ、417件ものご回答をいただきましてまことにありがとうございます。会員企業の皆様の朝礼への意識の高さをあらためて感じた次第であります。さて、アンケート結果に基づきまして若干の考察、感想を述べさせていただきます。

- ①回答いただいた企業の70%以上(296社)が毎日実施している。
- ②朝礼を実施していない50社の企業では、事業体系で朝礼が出来ないとお答えいただいた方が圧倒的に多い。
- ③朝礼を実施されている企業の6割以上が活力朝礼またはアレンジをして行っている。
- ④導入効果については、約半数の企業が大いに効果があると回答している。
但し、普通、効果を感じられないとお答えいただいた企業も半数ある点に着目したい。
- ⑤朝礼は実施しているが、活力朝礼は実施していない企業の中で、現状のままで十分であるというお答えが約6割(70社)
- ⑥知りたい情報については他社様の取組み事例(DVD含む)が54%と圧倒的に多い。

上記の点を踏まえ、朝礼委員会として取組みを強化していきたい点

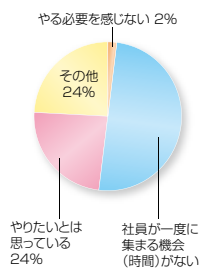
- ①個人であっても、また勤務体系がさまざまな企業でも取組んでいる事例紹介
- ②活力朝礼の目的を明確にしてお伝えしていく
- ③活力朝礼の導入の手引きのようなものが必要とされる
- ④導入された企業の効果事例を正しくお伝え、紹介し、会員企業への導入のきっかけづくり、導入成果へ結び付けていただきたい

引き続きアンケート集計の結果をふまえ、深く考察してまいります。ご協力に心から感謝申し上げます。



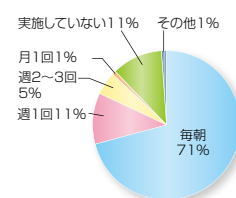
Q1 朝礼アンケート回答数

個人でやっている(社員がいない)為(6件)
 農業には必要ないと思ってる
 現場作業時間帯が各作業員でまちまち(2件)
 現場に各人直接行っている為
 仕事が夜で私の他2名のアルバイトと小規模だから
 家族経営だから
 私が大きな声で挨拶すれば皆申す...自分次第である



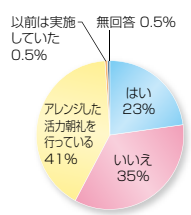
Q3 朝礼を実施していない理由

毎日昼礼を実施(交代勤務の為)
 毎日夕礼を実施
 配属部署により毎日実施
 今週から実施
 毎月夕方1回
 月曜日は全員で、他は各部署
 基本毎朝実施、お客様が来店されたりすると朝礼はできません
 月2回実施
 現在は実施していないが、以前は毎朝実施
 夜に次の日の朝の分を実施している
 4種類の朝礼がある
 打合せ会議
 時差出勤の為、全員がそろった時間が限られる
 冬場は除雪の為毎日できなかった



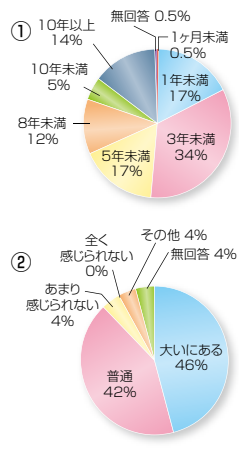
Q2 朝礼は実施されていますか?

Q4 活力朝礼を実施されていますか？



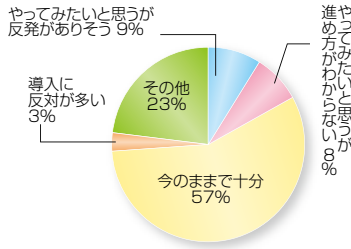
Q5 活力朝礼アレンジを含むを実施されている方への設問

①導入して期間はどの位経過しましたか？
②また、効果はありますか？



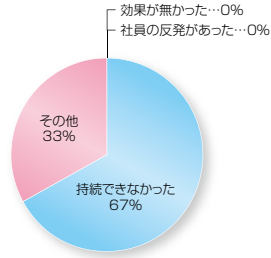
- ・ 導入効果は、大いにあると普通の間である
- ・ 社員として自覚してきた様に見受けられる
- ・ 工場内は、声が聞き取りやすい環境を整えてから取り組みたい
- ・ 支店によっては、職場の教養を使用して週1回輪読している
- ・ 毎朝部長会があり、ポジション毎に分かれて実施している
- ・ 経営者が23年前に急逝し、現在のスタイルを考案。経営理念の唱和、3分間スピーチなど、その他を含み定着している為変更は考えていない
- ・ 全体に声が出るようになった
- ・ よくわからない
- ・ マンネリ気味になるので、それをいかにクリアしていかかが課題
- ・ 協会（倫理法人会？）に入会してから取り組んでいる
- ・ 余裕がないので、大変良い事だとは思いますが、なかなか目の前の事に追われ、活用できない。
- ・ 社員は立派だが、私が未熟な為、自社なりのやり方をやっている

Q6 活力朝礼を実施していない理由



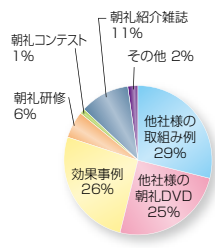
- ・ みせかけ、建前は不要
- ・ 会社で決められた方法でやっている
- ・ 勉強中です
- ・ 目標唱和と安全ポイントが主である
- ・ 冊子を各々読ませていただいています
- ・ 不定期であるが実施している
- ・ 週1回、朝礼と月1回朝礼を含めた全体会議を行っています。活力朝礼の実施は検討中
- ・ 今後取り入れたい
- ・ 部所ごとの自社の取り組みで十分
- ・ 休日勤務時間帯がそれぞれ違う為、各自読んでもらうようにしている
- ・ 仕事始め他、ポイントに必要な場合に行っているが、仕事に支障があるので行えない
- ・ これから進めていきます
- ・ 従業員に伝えていない
- ・ 今後検討したい
- ・ 入会間もなく未整備です
- ・ 朝、週3回やっていて
- ・ 朝の方法でやっている
- ・ 全社統一の朝礼がある
- ・ 現在朝礼の在り方を検討中である
- ・ 自身ももっと勉強してからと考えている
- ・ あまり時間がない
- ・ 活力朝礼のレベルに達していない
- ・ 当社の標準パターンをしている
- ・ 現在朝礼プロジェクトを立ち上げ、会社なりの朝礼を模索中
- ・ 現状をアレンジして進めたい
- ・ 現場が複数なので、直接行く為

Q7 以前は実施していたが、現在は取り組みをやめた。その理由は？



・ 早い時間にお客様が来るので中断になる

Q8 朝礼について、知りたい情報

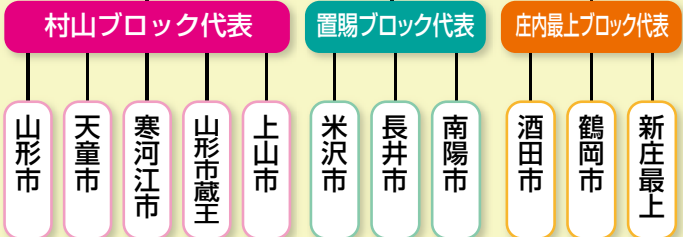


- ・ 感想を述べるのが苦痛（まじめに取り組むあまりのストレス）という意見が多いです
- ・ より活力あふれる朝礼の手法
- ・ 社員15人未満の会社の事例などを教えてください
- ・ 少しアレンジした進め方を知りたい
- ・ 建設士木関係業種の実例をみてください
- ・ 倫理の朝礼（モーニングセミナー？）に集まる人が少なすぎます。会員を集めるだけ集めているだけのようです。ぜひ会員同士の内容を中心に出来ませんか？

朝礼コンテストのご案内

代表3チームによる決勝戦

日時：7月5日（火）
場所：寒河江シンフォニーアネックス



村山ブロック大会 日時：6月10日（金） 場所：ホテルシンフォニー
置賜ブロック大会 日時：6月7日（火） 場所：熊野大社 證誠殿
庄内最上ブロック大会 日時：6月17日（金） 場所：響ホール(庄内町)

会員企業にますます元気になっていただくために、
 今年度は**朝礼コンテスト**を実施いたします！
朝礼を取り入れてここが変わった！効果事例発表も行います。
 うち未だ活力朝礼をやっていないという企業の役員、社員の方を中心に、各単会がチームをつくり、切磋琢磨し絆を深めながら進めてまいります。
 大変な時期ではありますが、
 こんな時こそ前を向いて歩んで参りましょう。
 皆様のエントリーと観覧をお待ちしております。

倫理経営企業の素顔

第2回

酒田市倫理法人会 株式会社グローバルマシーン



菅原勝安県副会長のグローバルマシーン様を訪問いたしました。菅原副会長は庄内最上ブロック長として活躍中。昨年開催された合同講演会を契機に、3単会が地域の歴史や文化を超えて仲良く交流ができるようになったことを大変喜ばれておられました。「3単会が仲良く活動することが僕の役目。僕は黒子。とにかく皆さんが元気になってくれればいい」と語られていました。

●これがグローバルマシーン流朝礼だ

朝7時45分。余目の閑静な住宅街の傍にある工業団地。そこに株式会社グローバルマシーン様がありました。「最初に行くのはモラル訓練って言うんですよ、まあちょっと見えてください」と守屋工場長。「皆さん、おはようございまーす」



「今日こそー、俺はー、やるぞー」と唱和。「やるぞー、やるぞー、やるぞー」のリーダーの声に「せーの、やるぞー、やるぞー、やるぞー」と工場の周囲に響き渡る大音声に驚きと感動。200m先にある鈴木ゴム様の國分研修委員長のところまで毎日聞こえてくる声がこれでした。

●基本に則った活力朝礼

続いて活力朝礼が始まりました。挨拶のあと、ハイの練習を最初は全体で、そして前の方々だけひとりずつ行いました。次に挨拶練習をして、セブンアクトを唱和し、今日も一日宜しくお願いしますのリードで全員がお願いしますと斉唱。

連絡事項の後、守屋工場長挨拶と続き、職場の教養を輪読。その日の感想は突然の指名で行われました。

全員で心がけ斉唱し、解散します、解散で終了となりました。8時終了。15分間の朝礼でした。

●モラル訓練について

菅原社長のお話です。モラル訓練は有志でやっています。全員参加ではありません。結構ハードなものなので強制はせず、毎朝約1/3の社員がやっています。やらされたら辛いでしょうが自分で進んでやれたらこれは良い訓練です。何の為にやるのか。喉がつかれるくらいの大声を本気で出すことで、ありのままの自分をさらけ出してしまふ為です。また、ストレスも取れます。モラル訓練をやり続けることでこのような大きな声が出せるようになります。影の薄い人にも存在感が出てくる。どんだん話しかけてくるようになる。訓練をしないとこの声は出せません。私はもう止めてもいいかなと思うのですが、でも社員が止めないんです。リーダーの絶叫が毎朝勇気を与えてくれます。やれば負けない気がする。その声が、この辺一帯に遠くまで鳴り響くというわけです。あれだけ大きな声を出すと健康に良いですよ。歳を取ってくると大きな声を出す機会が少なくなり、自然と肺活量不足を招いて息切れするようになります。毎朝声を出せば若い人と同じように出せるようになってきます。大声は元気の源です。

●活力朝礼について

今朝見て頂いたのはセクションごとの朝礼で4か所に分かれて行っています。月曜日だけは15分延長して全体朝礼を行います。全体とセクションでの朝礼の



中身が重ならないように工夫しています。進行係がいてひとつひとつはじめを付けながら、リーダーが真中においてやっていくスタイルです。最初は上手にいきませんでしたが、様々なことを付け加えながら今の形になってきました。順番を入れ替えたり、ハイッは前列だけで毎日列を変えるなどマンネリ対策や時間短縮にも工夫をしています。今日の感想を述べる人はその場で指名します。誰にあたるかはわかりません。ですから、読む時はいつでも感想を言える準備をしなくてはなりません。

やはりその日一日のスタートが大切です。朝礼をやった後は仕事にすーっと入れます。毎日、毎日の継続が大事です。倫理経営を実践するには掲げた目標は簡単に降ろさないことではないでしょうか。

●倫理の勉強が続けられた理由

私は、平成10年に東京都八王子市倫理法人会に入会いたしました。私の一番欠けていた部分、倫理観はもちろんです。皆さんがやっているのはこうなんだという常識的なことをきちんと教えていただけれる環境がとて有難かったです。

倫理の勉強が続けられた理由ですか？倫理の勉強は週一度のMSがメインで、MSでは、苦難を克服した体験などが多く心が洗われ素直になれます。私は忘れたっぽい人間ですから、3日もすると忘れてしまう。

でも、MSは1週間に1回開催されるので、週の半分くらいはMSでの感動を持続し素直でいられる。残りの数日は翌週の講話を想定して、謙虚さを切らさずを持ちこたえています。

娘にもMSに来てもらってこういう会なのだということを理解してもらいました。MSがある日は食事を作ってくれたり、いろいろと協力して送り出してくれたのも続けられた原因だろうと思います。

●平成13年3月に住居を移転

庄内工場は平成3年操業開始以後、相模原市の本社から遠隔操作していましたが、工場と心中するつもりで平成13年3月に山形県庄内へ転居してきました。当時、倫理法人会に入ろうとしても庄内にはありませんでした。山形市と米沢市の方にしか無かったのです。そこで八王子のMSに出席できる出張計画を組んで、八王子のMSに参加していました。

平成16年秋、いつの間にか酒田市倫理法人会が出来ているのを発見しました。そのことがわからなくて、入会が何ヶ月か遅れてしまったのです。たまたま職場の教養の案内ページを見たらあるということで、すぐ

に電話をして入れてもらいました。



八王子市には6月に入会し、その年9月辞令交付終了後「菅原さんも幹事に入ってもらった方が良いでしょう」と

の話が勃発して、俄に追加申請と相成り、付けたしで幹事に就くことになりました。山形に来るにあたっては八王子倫理法人会はそのまま継続していきまして、今も、相模原市の責任者が私の代わりに行ってくださいます。

●初動でのマイナスを解消

山形への転居の際、子供3男1女のうち通学の都合もあるので18歳以上の3人に相模原の家を任せ、義務教育中の三男だけを山形に連れて来ました。6年前、その三男が学校の寮に入ったものですから、妻に協力を求め数年考えていた早期出勤を実践してみようとなりました。目標は朝6時と決めましたが、なかなか目標通りに行きません。原因は、朝食や弁当が遅れ気味に出来るので出発が遅れてしまうのでした。残念ながら6時出社を諦め6時半出社を続けています。



出社が1時間早いかどうかは、新聞を読んでもらう社するか、会社で新聞も読むかの違いで総時間では同じです。違いは、早朝静かな所で新聞を読むと閃く事が多い。「閃いた事を忘れないで後で確認しよう」というのと、現場にすぐ急行して確認するかで大きく違う。

もう一つの効果は、6時半に出社すると昨日の仕事の終わり方で粗筋が推測できる。そして、今日はどのよう修正を加えるか、新たな方法に切り替えるとかを考えます。余りに非合理と感じた時など熱くなりなが

「ここまで熱くなつてはいけないぞ」と気持ちを落ち着けながら社員の出社を待ちます。

以前なら社員と「同時刻に出社し、よいいどんでスタートしましたから、例えば巡回して「気分いい時には更に一步」理想に反した方向へ進んでいる事があった。そうしますと、社員がよかれと進めているのに軌道修正が必要になる。ときには、途中まで進めたものに「更に無駄な時間を掛け」出発点に戻し、別方向へ進めさせることもあった。早く出社し、当日着手前に変更させられれば、マイナス分を重ねる前に阻止できる。こんな簡単なことを30余年繰り返していました。出社を早めることは、鈴木会長の「金の時間」と知らず、実践していたことが去年判りました。

●感謝の思いで行うトイレ掃除

富士研に参加して、妻が行っているトイレ掃除を必ず自分でしようと誓い、5年以上毎週続けています。去年から会社のトイレ掃除も毎朝行っていますが、これも良いですね。冬は部屋が暖まるまで、工場を巡回してトイレ掃除をして席に戻ると丁度良い。ぬるま湯をバケツに注ぎ雑巾と素手でいきますが、社員への感謝の気持ちを込めて磨き込んでいます。



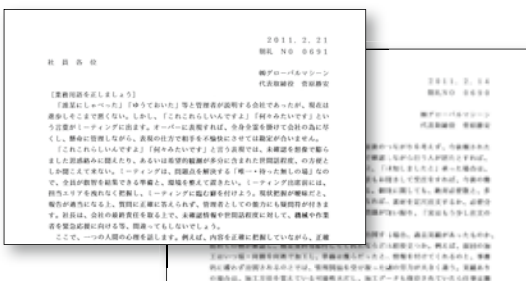
工場では、10年前から毎週火曜日は清掃デーと決めてあり、7時50分から30分間全員参加で

一斉に始めます。日常行うには難しい箇所を重点的に、担当者を毎回用紙に書き、前夜から貼り出しているのも特徴です。

●毎週発行して現在691号(2月22日現在)

庄内工場創業後の朝礼は伝達事項中心の簡単なものでした。会社の方向性も見えず不安なので、何か方法はないかとの意見が出され、メッセージを書いてFAXしたのが始まりです。工場に来たときでも、私し上りがりで人の前で話す事が大の苦手、その上一貫性のない内容になるので誤解も生じました。「これではまずい」と正確に書くようにし、朝礼後ファイルに残し、再確認できるようにしました。

10年位前から朝礼の内容を一点に絞り、起承転結型にして尻切れトンボを防止したり、必ず理解してもらえ内容に工夫を加えました。以前はがんばってやろうぜ、いよいよ忙しくなりそうだ、と言った雰囲気重視の内容が中心でした。一昨年前からは、顧客



や社内様々なことが発生しますが、表面的内容は判っている通りとして、何故そうなったか、何故そうしたか、正解はどうすべきだったか、と言った心理面を掘り下げています。折角の機会なので、長期的に考え・多面的に考え・根本的に見て正しいかとかき回しています。週一度の朝礼を年52週10

年以上続け690回になった。体調が悪い時、イベントなどで時間が取れない時もあった。何とか工夫して、休まず続けられた事は自慢できると思っています。

●会社で起る事はすべて社長の責任だ

3年前まで、社員を育てることは相当難しく私には無理だと思っていました。そう思っていた時期に、秋田県の法人レクチャー藤田茂治氏が酒田市倫理法人会にお見えになりました。「会社で起ることはすべて社長の責任」と言う題名での講話で、藤田講師は会社で起ることはすべて社長の責任として受け止め、そのように対処していると話されました。私はその時、納得いかずケースバイケースで、一概に言えないのではないかと感じました。

待てよ、でもな、そう言ってもな、幾らなんでも大袈裟過ぎるよ。そのことを幾日も繰り返し反芻しました。そして、体験してないから分らないのであって体験したら納得いく場合もあるかも知れない。違っていれば変えても良い訳だからと腹をくくり思い切っってすべて社長の責任でやってみようと決心しました。

社長の責任と決めた途端、自分の態度や言葉が変わるのに気付い



た。帰宅する社員への声の掛け方で「苦勞さん」から「今日は凍っているぞ、滑るから気をつけろ」などと話す自分が居るではありませんか。全部社長の責任だと意識したことで言葉のひとつひとつが違ってきたのでした。

不良品が出るに当たって、社員が不真面目だから、うっかりミスをしたからということではない。もっと深く考えれば、社員がくさるような、不良品を作ってしまうような作業環境を私がつくっているから。家が混乱するような給料しかあげられないから。そのように掘り下げて考えてみると、喧嘩しないで頑張ってくれよとか、あと少して会社も良くなるから頑張ろうというような話が出てきます。そうした言葉を添えることで、社員に支払う報酬に私のハートが一緒に付いていくのではないかという感じがするのです。

●怒る時はしっかり怒る

これは社長の責任として大切な部分です。悪い事をしたら叱るのは大切な仕事。家庭でも学校でもあまり叱らなくなった。会社で、見て見ぬようにしては、良し悪しの分からない社員が育ちます。悪い事をしたら「火が出る程怒られる」という事も必要だと思えます。いざれ逆の立場が来たときに必ず生きるからで



2階の窓から見える鳥海山

す。正しい事を教えるのが社長の責任と自覚してから、表面上の出来事に惑わされず、真実をより冷静に見るようになりました。

守屋工場長に、私が会社の全責任を持つものだから、あなたは庄内工場の全責任を持ってくれ、そうすれば皆が信頼して会社になると話しました。工場長は、「私もそう思う」と言ってくれ、私の代わりに指導してくれるようになりました。悪い部分や、物足りないところが、ぐっと良くなるのは案外簡単なことなのだという感じがします。多分ちょっとのことなのですね。100%社長の責任という立場に立つと、これまでの悪いところがすぐに改善されていきます。そういう心掛けから、話の仕方に気をつけるとか、ちょっとしたことだけで変わっていくものです。

●技術の底上げにチャレンジ

リーマンショックで、会社は週3日の休業を余儀なくされた中で、助成金をもらって休業しているだけでは勿体ない。休業後のビジネスを有利に進める意図で、選択したのが金属加工のうち、外部に依頼していた施盤加工・熱処理・その後の研磨加工等で、この工程のある仕事と混じると途端に歯切れが悪くなっていた。他社も50歩100歩だ。もしかすると新しいビジネスモデルになるかもしれない。そのような発想で若手10人のメンバーで勉強会を始めました。

社内では、格好良く新プロジェクトと命名し、新しくもないのに「新プロ」と呼び、座学と実技を工業高校元教師にお願いして、2月から2か月間勉強しました。素材特性や熱処理の設定温度、対摩耗性メッキに

至るまで特訓しました。そして生産設備も準備して、新聞紙上に広告も打ちスタートしました。しかし、その後もまとまった仕事は入りません。ところが、新プロで勉強した若手に変化が現れた。本気でやろうとする意志が見えるようになったのです。これが一つ目の成功です。

受注から加工・熱処理・後加工・表面処理に至る工程を、通常の1/3程度の短納期で出荷するビジネスモデルは魅力的らしい。仕事動き始めると、いつの間にか名指しの引き合いが増え、受注に事欠かなくなりつつあります。西洋医学のような画期的な効果は出ませんが、漢方薬のように徐々に浸透し、滋養強壮効果のように体力が付き始めた。新しくない、何も変わらないのに筋肉質になった。これが二つ目の成功です。

●短納期で小回りの効く会社に

近年の弊社の業務内容は、エンジン系の仕事がメインになってきました。設計もします。図面も引きまします。ある部品の摩耗が早過ぎれば、材質強度を変更し希望に答えます。生産を止められない設備の故障も起きる、図面か現物があれば最短で製作します。

管理部門では、手配漏れや員数違いで大騒ぎになる場合もあります。あるいは設計上の問題で、上手く組み立てられない事もあります。そんな時、顧客の「藁にもすがりたい叫び声」に比べ重宝がられています。

空洞化が進んでも、海外との競争が激化しても、何か方法はある筈だ。何故なら「打つ手は無敵だ」からの気持ちで取り組んでいます。



1450社を目指して立ち上がれ!

山形県倫理法人会 決起大会



市村清勝副幹事長の司会進行により、伊藤明彦副会長が立たれ開会を宣言。鈴木隆一県会長が挨拶の中で、「決起大会を挙げてきた山形倫理法人会は本当に幸せです。被災地3県倫理法人会の分も背負って私は頑張りたい、それが山形県の役割だと思えます。是非各単会の皆さまには、この決起大会で迷いを払拭し、決意を練り固め、そして心をひとつにしてください。そして本番の普及活動では、是非、気負わず、自然体で、喜んで活動してください。余計な事を考えずに、まっさらなスナオな気持ちで活動をスタートしま



平成23年度も残り3カ月。目標1450社を目指して各単会の普及活動もいよいよ本格化します。5月10日、パレスグラウンデールに、各単会から会長・副会長・専任幹事・事務長・普及拡大委員長 & 副委員長が熱烈果敢な活動を展開しようとして集結いたしました。



しよう」と述べられました。続いて桜井仁県普及拡大委員長が「目標は数ではなく、意志だということを教わりました。決意の強さと重さが目標達成につながります。腹のすわった力強い決意を期待します」と挨拶されました。

続いて、各単会ごとに決意を発表しその決意を鈴木県会長に手渡しました。これから各単会が掲げた社数を7月20日までに達成。8月19日の最終ゴールに向けてさらなる普及活動を実践していきます。

最後に菅原勝安県副会長が前に立ち全員が起立。「7月20日までに1450社必ず達成させましょう。山形県の力を見せましょう」と檄を飛ばし閉会いたしました。



???

質問で生きる道、 経営の方向が見つかる

ととと

万人幸福の葉十七カ条から考える経営方針
「実践して学べるワークショップ講演会」

山形県倫理法人会 青年委員長 池田知之



講師に、質問家として活躍されているマツダミヒロ氏をお招きして山形県倫理法人会初の試みとして企画しました。皆様のお陰もありまして、定員を超える60名の参加をいただき、終始笑顔と笑い声の絶えない充実したワークショップとなりました。無事に講演会を終えることができましたこと、参加していただいた皆様、そして、講演会の準備で支えていただきました青年委員会・事務局の皆様にご感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

講演会当日の報告の前に、これまでの講演会スタイルとは違った、ワークショップ形式の講演会を企画したいと考えた理由をお話したいと思います。

におきましては、

1. 山形県倫理法人会活動方針
2. 若手の視点でチャレンジする
3. 自ら生み出す手応えを得る

を必ず盛り込みたいと考えました。

山形県倫理法人会での青年委員会活動方針は、「若手経営者と後継者を対象とした行事を開催する」「若手社員を対象とした行事を開催する」としています。また、発足元年の今年度は各単会への青年委員会の設置を目指したので、若手の視点とエネルギーな活動を象徴するようなものにしたと考えたことが出発点です。

チーム形式で行うワークショップは、新たな仲間との出会いの場となり、ワークを通して自分内にある想いを具体的に出来る方法だと感じていました。そして、非常に楽しい。個人的な感想ですが、奥が深い倫理活動を身近なものにでき、単会内のみならず、単会を超えた仲間作りに有効な方法のひとつだと考えています。

さて、講演会当日の様態ですが、初めてのワークショップ講演会がどんな内容になるのか分からないということもあり、いつもと違う緊張感が漂っていました。しかしながら、席替えや当日の目標の発表を進めることにより、コミュニケーションがスムーズに図られ和やかな雰囲気会場内で作られていきます。ワークでは、講師から出される質問に対して自分の考えを書き出す作業を



基本として繰り返しますが、更に講師の仕掛けで、「イイですねー!!」「イイねー!!」という魔法の言葉を掛け合うことがきっかけとなり、笑い笑顔が自分自身の意見がドンドン湧き出る雰囲気が確立していった瞬間です。実は、この質問は万人幸福の葉十七カ条を基に作られていますので、唱和する度に思い返していただきたいと思えます。

ワークの合間には質問だけでなく、「シャンパントワーの法則」「娘さんとの質問ごっこ」といった、リーダーに不可欠な考えをエピソードを交えて紹介いただきながら進められました。終盤には「もっと質問に答えたい」「もっと時間を延ばして欲しい」「え？もう2時間経ったの？」という感想をこちらから聞かせていただきました。本当にありがたい嬉しい言葉でした。

ワークワークショップ講演会は短い時間で終わりますが、いつでもどこでも質問に答えて、自分から出てきた答えを実践していただけたら幸いです。今後このような青年委員会らしいと思われるような活動を行って参りたいと思っております。ご期待いただけましたらと思います。

単会トピックス



天童市倫理法人会
会長 五十嵐慶三

この度の「東日本巨大地震」の影響を受け、「天童市倫理法人会経営者モーニングセミナー」を、約1ヶ月間お休みさせて頂きました。その間、皆様方が、それぞれのお立場の中で、直接被災地へ向かわれ「救援物資の



運搬」、あるいは「炊き出し活動」といったふうに自発的に行動に移された方々も、多かったのではないかと思います。

そうした中、4月17日、宮城県仙南倫理法人会、佐藤会長にお会いしてまいりました。震災に見舞われながらも、地元の大型ショッピングセンター駐車場を会場に、名取市「閉上の朝市」を復活させ、地元の方々に決意を示しておられました。

お店、住む家、全て津波に流されながらも、家族全員、力を合せ「笑顔」で接して下さいました。三人娘の長女さんとのツーショットにも満面の笑みで応えて下さいました。本当に頭の下がる思いでした。

次週の4月26日(火)に仙南倫理法人会、第1047回「経営者モーニングセミナー」が開催され、2名の会員さんによる「震災体験発表」が行なわれました。

セミナー最中にも大きめの余震が2回ありました。皆さん、少しも驚く様子がなく、腰を据えた活動ぶりに、感動すら憶えました。

貴重な命を多数奪われたり、甚大な被害を受けた地域も多く、先行きを心配する声も多く上がっていますが、私たち日本人は、幾度となく襲い掛かる猛威と闘いながら経験を積み、知識を高め、仲間同士、心一つにして乗り越えてきました。

会員同志の英知と勇気を結集して、未曾有の苦難を受け止め、どうぞ皆様、ひたすら前



向きな気持ちを大切にしながら協力し合い、一緒に取り組んでまいりましょう。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

倫理経営講演会



**酒田市に
丸山理事長
来たる!**

- と き／6月28日(火)17:30～
- と ころ／酒田市民会館希望ホール
- テーマ/トップを支える家庭力+朝礼実演
- 講 師／(社)倫理研究所
理事長 丸山 敏秋氏

長井市倫理法人会

- と き／5月17日(火)
18:30～
- テーマ/トップを支える家庭力+活力朝礼
- と ころ／タスパークホテル
- 講 師／名誉研究員 稲田 博己氏

寒河江市倫理法人会

- と き／5月19日(木)
17:30～
- テーマ/創生の経営道+事業体験報告
- と ころ／グランデール寒河江
- 講 師／参与 戸田 徹男氏

新庄最上倫理法人会

- と き／6月6日(月)
18:30～
- テーマ/トップを支える家庭力+事業体験報告
- と ころ／ザ・リヴィントン
- 講 師／常任理事普及本部長 中西 浩氏

南陽市倫理法人会

- と き／6月13日(月)
18:00～
- テーマ/創生の経営道+事業体験報告
- と ころ／熊野大社 證誠殿
- 講 師／参与 三好 雅典氏



フェイスブック

facebookに山形県倫理法人会のファンページができました。

時代はソーシャルネットワーク。

倫友が語るエピソードやニュースが友だちの共感の輪を拡げ、純粹倫理への関心を呼び起こしています。全国的にみてもどんどんファンページが増えてきて、方面、県、単会を超えた仲間づくりが静かに進行しており、新しい展開を見せ始めています。山形県内では最初に酒田市が立ち上げ、次いで県が続きました。県倫理法人会としては全国で2番目の立ち上げです。新しい倫理普及の動きを是非体験してみてください。



倫理法人会ホームページの
下部分にあります。
登録マニュアルもダウンロードできます。



登録して検索してみてください。
書き込み自由です。

震災支援

謹んで東日本大震災のお見舞いを申し上げます。社団法人倫理研究所、山形県及び県内各単
位倫理法人会の復興支援についてお知らせい
たします。

※詳しくは県もしくは各単会事務局にお問い合わせください。

●社団法人倫理研究所の支援について

- ・日本赤十字社に3000万円を寄付
- ・東日本大震災教育支援基金(通称「りん
りん基金」)開設(基金3億円を拠出)

●山形県倫理法人会の支援について

- ・今後長期にわたる支援が必要なため、社
団法人倫理研究所と連携をはかり必要な
支援を進めてまいります。

●県内各単位倫理法人会の支援について

- ・義援金及びボランティア支援
- ・要請された必要物資(ゴム手袋、長靴、
ヤッケなど300ずつ)支援

皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

北海道
東北

方面会に参加して

酒田市倫理法人会

会長 安藤政則

北海道・東北方面会は、道・県会長、
幹事長、単会会長合わせて約1000人の
会。秋田県由利本荘市で2月26、27日の
二日に亘り行われました。高杉仰ぐ武蔵
野に「?」、「日本創生の詩」斉唱で始ま
る大変緊張する中にもプラスのエネル
ギーがバンバン飛び交う会でした。
会長挨拶コンテスト、体験発表、役職
別分科会、そして、懇親会。

翌日は特別MS、中西本部長の「戦い
人となれ」の講義、そして、道・県会長
の決意表明、「日本創生の詩」斉唱で解
散でした。

私は会長挨拶コンテストにエントリー
させて頂きました。残念ながら入賞出来
ませんでしたが、思いもかけないチャン
スと勉強の機会を頂きました。

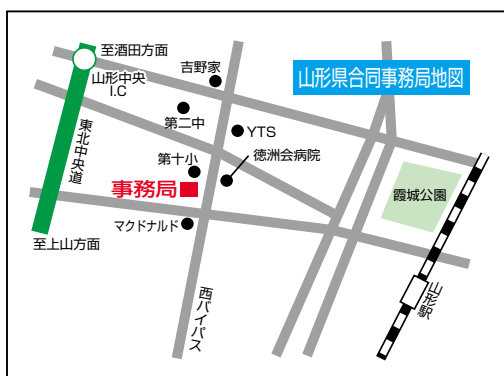
これを機会に、より一層会員の方々に
沢山参加いただくモーニングセミナーに
なります様に努力したいと改めて思いま
した。有り難う御座いました。

編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 土屋 和浩

10数名があっただけの声を張り上げる大音
声を想像してみてください。グローバルマ
シーンの朝礼はとにかく凄かったです。
取材の日に車窓から観た鳥海山は、雲ひと
つない青空にきらきらと輝き、その雄大な姿
を見せていました。セッティングをしていた
だいた、酒田市の安藤会長、佐藤広報委員長
をはじめ幹事の皆様に感謝申し上げます。

広報委員会からちゃっかり鈴木会長を拉
致?して普及拡大に連れて行く酒田市のバイ
タリテイとしたたかさに脱帽です。同行され
た鈴木会長は多少面喰らいながらも私で良け
ればと喜んでおられました。会長の使い方?
が酒田市の旨すぎ!勢いがある単会だからこ
そこういうアイデアが出てくるのでしょう。



URL
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>